

阪大分会ニュース

関西単一労働組合大阪大学分会
大阪市淀川区十三東 3-16-12 TEL&FAX:06-6303-0449
E-mail:handaibunkai@yahoo.co.jp

あらゆる相談受付中！！

正規・非常勤・派遣・委託など1人でも
入れる組合です

「国立大学発の貧困」をなくそう

非常勤職員の解雇許すまじ！

団結して非常勤全員継続雇用をかちとろう！



3月末雇い止め・5年後解雇＝ 非常勤職員への虐待を許さない！！

大阪大学で働く全労働者の皆さん。厳寒の新年を心新たにむかえられたことでしょうか。しかし、非常勤職員にとっては、厳しい年明けとなりました。阪大は創立80周年で浮かれています、その一方で、1500名もの非常勤職員（事務補佐員と技術補佐員）に対して大量解雇攻撃（3月末雇い止め・5年後解雇）をかけています。

失業率5%の超就職氷河期の不況下の現在、朝日新聞（1/18夕刊）は大学の新卒者ですら、大学就職内定最低68.8%、近畿も悪化71.0%で3割以上が就職先がきまってない異例の状況（昨年12月時点）と報じています。これでは、非常勤職員の再就職口はどこにあるのでしょうか。この厳しい状況下で職を失うことは「死ね」ということに等しいことです。

昨年12月、阪大は人権問題に関する講演会でパワハラ研修を実施しました。しかし、その阪大が非常勤職員の弱みにつけこんで雇い止め解雇攻撃をかけているのです。阪大自身が組織的にパワハラ・虐待をおこなっているではありませんか。しかし、虐待に甘んじていては人形でしかありません。非常勤職員のみなさん。もはや、私たちは大学にとって都合よく働く人形ではないことを示そうではありませんか。今こそ、団結して、職場と生活を守るために非常勤職員の底力を発揮しましょう。

＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝

|| **非正規労働者の談話室** ||

|| 一人で悩まず、相談を！ ||

|| 1月27日（木曜）午後6時～9時 ||

|| 豊中市立千里公民館 第三講座室 ||

|| （豊中市千里文化センターコラボ内） ||

|| アクセス：北大阪急行またはモノレール ||

|| 千里中央駅下車 ||

|| 連絡先 TEL：06-6303-0449 ||

|| E-mail：handaibunkai@yahoo.co.jp ||

|| ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝ ＝

人間を育てるべき大学が ワーキングプアを作り出している って、どういうこと！？

12月22日、私たちは阪大と11月25日の継続団交をおこないました。私たちはまず最初に、阪大がワーキングプアの存在すら認めない発言をしたことについて抗議しました。すると、またもや、阪大は「ワーキングプアがどこまで社会のコンセンサスになっているか定かでない」と言い切りました。

しかし、これは、阪大としては当然の回答なのです。なぜなら、小泉「構造改革・規制緩和」によってワーキングプアが生み出されたのですが、阪大にはその小泉「構造改革・規制緩和」の推進論者の小

寫典明教授がおり、政府・企業の代弁者として派遣労働の完全自由化・「偽装請負」の合法化を唱え、ワーキングプアづくりに加担してきました。その路線にもとづき、阪大は非常勤差別の就業規則・短期雇用制度・新賃金制度を作り出したのです。だから、阪大は絶対に認めようとしません。

ところで、阪大は大阪府労働委員会提出の第2準備書面にて、5年後解雇を打ち出した「お知らせ」について、「誠に遺憾ながら、大学に存する9つの労働組合の何れとも明確な『合意』に到っていない」ことを明らかにし、労働組合を無視して「お知らせ」を強権的に強行したことを暴露しました。

このように、政府・企業の代弁者である小寫典明教授や阪大の組合無視の非民主主義的・反労働者的な姿勢に対して、日本労働者弁護団をはじめ、闘う労働団体から「阪大の常識は世間の非常識だ」と厳しい批判の声があがっています。

官製ワーキングプアの反撃のうねりが起こっている！

現在、官製ワーキングプアの運動のうねりが沸き起こっています。公務の世界が「行政発の貧困」ならば、私たちの場合は「国立大学発の貧困」です。

昨年5月にも「なくそう官製ワーキングプア第2回反貧困集会」が開催され、ワーキングプアである当事者が実名で正規職員と同等の仕事を担いながら貧困に悩む実情を訴えました。昨年2月に「なんで有期雇用なん!?大学非正規労働者の雇い止めを許さない関西緊急集会」を共に取り組んだ京大時間雇用職員組合エクスタシーも、大学の非正規労働者の実態を報告しました。同年11月には国会で「官製ワーキングプア問題解決促進議員連盟」も結成されました。やはり、「まず当事者が動くことが道を開く」のです。非常職員のみなさん。あきらめる前にまずは声を上げ、「ワーキングプアをなくせ！」と阪大を追及しましょう。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



NANNAN is back !

**「なんで有期雇用なん!?」リターンズ@京都
—大学非正規労働者の雇い止めと闘う緊急集会**

**2011年2月19日(土) 13:00~16:30
於・龍谷大学大宮キャンパス 東翼 101 教室
(とうごう)**

※終了後、会場近くの施設で懇親会を行います。

熱気と怒りと希望に満ちあふれる場となった昨年から早1年。3月末雇い止めを許さないために、なんなん集會を今年は京都で開催します。あれから《なんで有期雇用なん!?ネットワーク龍大支部》が生まれ、京都精華大学では3月末雇い止め反対のハンストが決行され、京都大学では、《くびくびカフェ》を営業しながら座り込み続行中です。

今回は、各現場で培われた実践的な戦略を共有することを第1の目的とし、ワークショップを開催します。一人で悩んでいる阪大の非常勤職員のみなさん。闘う知恵と勇気が得られることは間違いありません。ぜひ、おいで下さい。共に一歩を踏み出しましょう！

[公式ブログ]

<http://nandenan0227.blogspot.com/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



初春に大阪大学の「原点」と「未来」を想う
「年も明けたことだし！」と心機一転、机にたまっていた書類の整理を始めた途端、昨年中、大学から受けとった二つの書類に手が止まりました。
一つは、非常勤職員を“短期切り捨て要員”に仕立てあげる「クーリングオフ期間の確保の徹底」通知。そして、もう一つは、「創立80周年記念事業」のための「原点へ・未来へ」とうたった寄付を募る封書。新年早々、大きな「？」が沸いてきました。
働く人々に対し、モノのようにクーリング期間を設ける大学の「原点」と「未来」って何なんだろう？
人が人として尊重され安心して働ける場所こそが人を育て、人類のために真に貢献できる場所となり得るのではないかしら...このあるべき「原点」から大きく舵をきった大阪大学という巨大船はいったいどんな「未来」に向かっていくつもりなのだろう...??(Y)

**非常勤職員のみなさん、仕事と生活を守るためには労働組合は必要です。
今こそ阪大分会に加入を！**